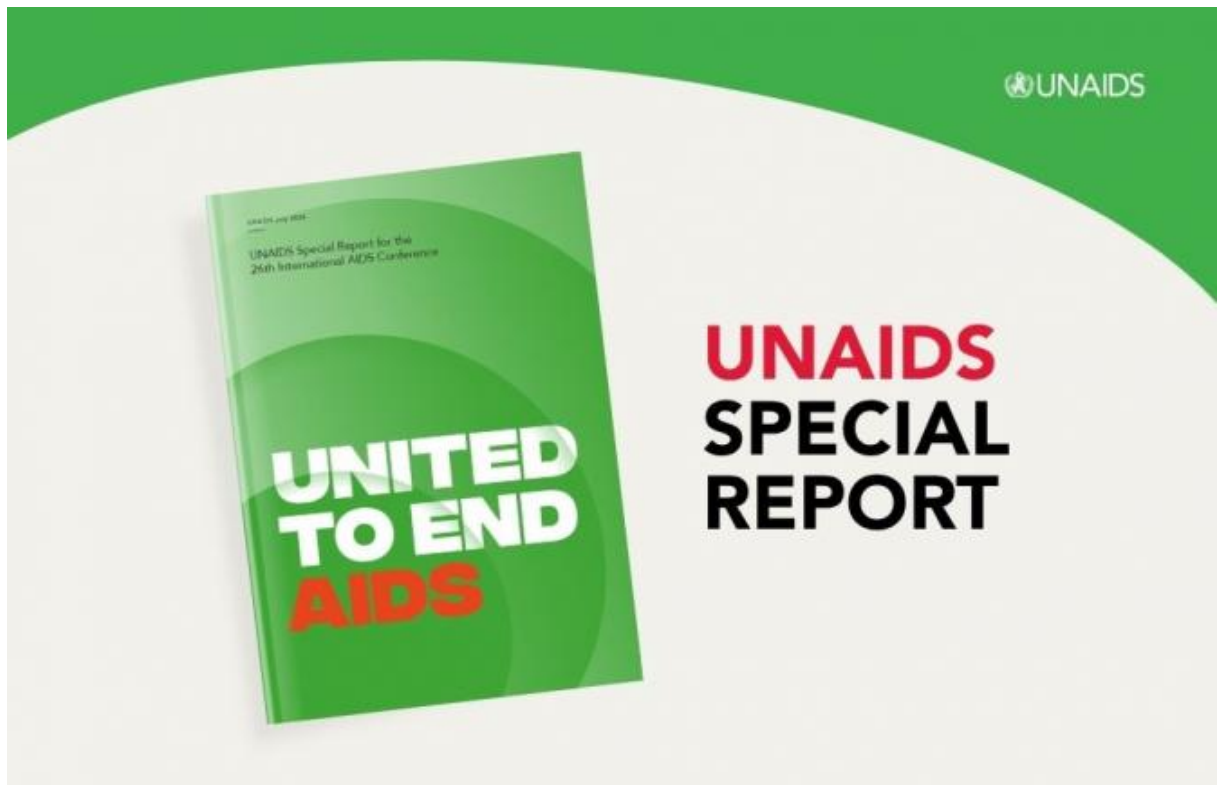




UNAIDS プレスリリース

流行再拡大の懸念が広がり、世界の HIV 対策は窮地に

2025 年には年間 120 万人が新たに HIV に感染し、57 万人がエイズ関連の疾患で死亡。いまずぐ緊急の行動をとらなければ、2030 年目標（ゴール）は達成できず、300 万人以上が新たに HIV に感染する恐れがある

リオデジャネイロ/ジュネーブ 2026 年 7 月 27 日 ブラジルのリオデジャネイロで 7 月 27 日に開幕した第 26 回国際エイズ会議（～31 日）に合わせ、UNAIDS（国連合同エイズ計画）は特別報告書を発表した。国際的な資金援助の縮小、および HIV 予防とコミュニティ向けサービスに対する予算削減が、流行の再拡大を招くことへの強い懸念を示すものだ。

新規 HIV 感染者数やエイズ関連の死者数は過去 30 年で最も低い水準に抑えられているとはいえ、HIV 対策は現在、極めて脆弱な状態に追い込まれている。世界の連帯を回復し、不平等の解消を進めない限り、公衆衛生上の脅威としてのエイズを 2030 年までに終結させるという目標の達成は極めて危うい。

2025 年の新規 HIV 感染者数は 120 万人だった。前年より減少してはいるが、その成果は不均衡なものだ。3 つの地域および 21 カ国で新規感染は増加している。世界全体で 4100 万人の HIV 陽性者のうち約 900 万人は必要な治療を受けることができず、なかでも HIV 陽性の子供は半数近くが抗レトロウイルス治療を受けられない状況に置かれている。また、2025 年になってもなお、年間で 50 万人以上（57 万人）がエイズ関連の病気で亡くなっているのだ。

実際、2010 年当時と比較して新規感染者数が 80%近く減った国が 7 カ国（注 1）あり、11 カ国が治療の「95-95-95」ターゲット（注 2）を達成して、成果を示している。

科学の進歩とイノベーションが大きな機会をもたらしつつある。HIV 予防薬がワクチンに近いレベルで HIV 感染を防ぐ効果があることに期待をかけ、世界はいま、予防革命とも言うべき転換点を迎えようとしている。すでに 1 カ月に 1 度、および 6 カ月 1 度投与する注射剤は市場に導入され、1 カ月間隔で服用する経口薬も最終段階の臨床試験が進められている。開発過程にあるものはさらに多い。それでも規模の拡大や、公平なアクセスの確保といった課題は依然として残されたままだ。

「科学の飛躍的な進歩により、以前は夢見ることしかできなかったような手段が私たちにもたらされています」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長はいう。「しかし、手に届かないイノベーションは、イノベーションとは呼びません。それは、不公正です。成功は単に薬が存在するかどうかではなく、必要とする人たちが、手頃な価格でその薬を手にするかどうかにかかっているのです」

ブラジルは、過去 1 年間に少なくとも 1 回は HIV 予防薬を利用した人の数を 41%増やした。エチオピアとウガンダは国内資金も活用して予防薬のアクセス拡大を進め、南アフリカでは、年 2 回投与型の予防注射薬であるレナカバピルの価格引き下げ交渉を続けている。しかし、レナカバピルの臨床試験に参加していたブラジルですら、製造元であるギリアド社からは、低価格での提供やジェネリック薬導入を可能にする「自発的ライセンス」を認められず、「強制実施権（コンパルソリー・ライセンス）」の行使を検討しているところだ。

ユニットエイド（UNITAID）とグローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）は、パートナー機関とともに資金拠出を行い、2028 年までに 300 万人がレナカバピルを利用できるようにすることを目指して活動している。歓迎すべきニュースではあるが、現時点での利用者は数千人で、全体から見れば小さな規模にとどまっている。UNAIDS の推計によれば、HIV の新規感染を抑える効果が上がるようにするには、抗レトロウイルス薬を用いた予防策を 2000 万人が利用できるようにしなければならない。

海外開発援助（ODA）は崩壊している。2025 年には、世界全体の開発援助額が 23%減少し、過去最大の落ち込みを記録した。その大きな部分を占めるグローバルヘルスや HIV 対策プログラムも深刻な打撃を受けている。

アフリカの低所得国は、疾病負荷が高く多額の債務を抱えており、HIV 対策は ODA に支えられてきた。こうした国の多くが対策の 90%以上を ODA に頼っていたのだ。

「国際援助に頼る時代は終わったのです」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は述べた。「それぞれの国が、これ以上待っていることも、後戻りすることもできません。人びとの健康、教育、そして未来といった最も重要な分野に各国の政府が投資できるよう、世界は大急ぎで破綻

した金融システムを是正し、債務再編を加速させなければなりません」

複数の国からの国際的な HIV 対策資金拠出は、2024 年の 88 億米ドルから 2025 年には 73 億米ドルへと 15 億米ドルも減っている。率にすると 18%の減少で、過去 20 年でも最低の水準となった。

HIV 予防サービスは、大部分が国際的な資金で支えられてきた。例えば、サハラ以南のアフリカ地域では、予防活動の資金は 80%が国際援助によるものだった。2024 年には、HIV 対策分野の対外援助の 25%がコミュニティ主導の組織に提供されている。調査によると、いくつかの国では、HIV 陽性者の 22%、および社会的に弱い立場に置かれている集団の最大 60%に対し、命を救うために必要なサービスを届けているのはこうした組織なのだ。ドナー（援助国・機関）からの支援が失われ、国内での投資も強化されなければ、HIV 予防やコミュニティ主導による HIV サービスの提供体制は全面的に崩壊する恐れがある。

コンドーム普及のための資金が 90%以上削減されている国もある。また、47 カ国を対象とした 2026 年の調査では、コミュニティ主導型のサービスが大幅に資金を削減されている。たとえば、予防薬や HIV ケアに関するコミュニティ主導の支援で 50%、ゲイ男性など男性とセックスをする男性に向けたサービスで 85%、セックスワーカー向けのサービスで 82%、ジェンダーに基づく暴力のサバイバー（被害者）向けサービスでは 72%の削減となった。

女性と少女の「性と生殖に関する権利」や社会的に弱い立場に置かれている人たちの権利が無視されるなど、人権はいま脅威に曝されている。UNAIDS がこうした動きに対し、追跡調査を開始してから初めて、社会的に弱い立場の人たちに対する犯罪化の動きが拡大している。2025 年にはブルキナファソとニジェールが同性間の性的行為を犯罪として扱うようになり、2026 年にはセネガルが同性間の性的行為に対する罰則を強化している。

2026 年時点では、セックスワークを犯罪としている国は 168 カ国、少量の薬物所持は 152 カ国、同性間の性的関係は 66 カ国、トランスジェンダーの人たちの存在を犯罪とみなしている国は 14 カ国となっている。

「HIV 陽性者や HIV 感染の高いリスクに直面する人たちを犯罪者として扱ったままで、エイズを終わらせることはできません」とビヤマ事務局長は語る。「逮捕や暴力、差別を恐れ、HIV 関連のサービスを避けるようになってしまいます。人権の尊重を HIV 対策と切り離すことはできません。成功に不可欠な要素なのです」

こうした逆風の中で、国連加盟の 149 カ国は、UNAIDS の「世界エイズ戦略 2026-2031」およびその 2030 年ターゲットを踏まえ、進歩的な「HIV とエイズに関する政治宣言」を採択した。新たな 2030 年ターゲットには、4000 万人が命を救う治療を受け、2000 万人が抗レトロウイルス薬を用いた予防策を利用できるようにすることが盛り込まれている。また、HIV 陽性者や HIV 感染の高いリスクに直面している人がスティグマや差別を経験する割合を 10%未満に抑え、女性や少女、HIV 陽性者と感染の高いリスクに直面している人がジェンダーの不平等や暴力を経験する割合を 10%未満にすること、そして HIV 関連サービスへのアクセスを拒否または制限する懲罰的な法・

政策環境がある国を 10%未満にすることも目標に含まれている。こうした約束を完全に果たすことができれば、2030 年までに 320 万人の新規 HIV 感染と 130 万人のエイズ関連死をさらに防ぐことが可能になる。

「困難な課題はたくさんありますが、エイズ終結は依然として達成可能です」とビヤニマ事務局長は述べた。「AIDS2026（第 26 回国際エイズ会議）でも、UNAIDS は、すべてのパートナーと各国政府に対し、政治宣言が掲げた野心的な目標の達成に向けて、改めて力を結集し、前に進むことを強く求めます。新たな連帯と資金提供の持続、そして人権確保に向けた揺るぎない関与が必要です。いま後退して流行の再拡大を許すのか、それとももう一度考え直し、公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を 2030 年までに達成するため立ち上がるのか、私たちが選択すべきことは、はっきりしています」

（注1） ベナン、エスワティニ、ケニア、レソト、ネパール、ルワンダ、ジンバブエ

（注2） HIV に感染している人の 95%が自らの感染を把握、感染を確認した人の 95%が抗レトロウイルス治療（ART）を受け、治療を受けている人の 95%が体内のウイルス量を低い状態に維持

日本語仮訳：公益財団法人エイズ予防財団